

神戸市立博物館 館蔵品目録

考古・歴史の部 39

古文書X V

兵庫勤番文書

2025 年 3 月

神戸市立博物館

凡例

1. 本目録に収録した兵庫勤番文書(287点)は、平成29年(2017)度に個人より当館が受贈した資料である。
2. 資料名称は原表題を第一とし、原表題がない場合は便宜上表題をつけ、〔 〕内に記した。その際には、原資料の表記を優先している。原資料の表記のみでは意味が不明瞭なものに対して、判断が可能な限りにおいて適宜語句の付け足しや書換を行っている。ただし、保存状態(破損・虫損等)のため、内容読解に至らなかったものもある。
3. 資料の形状はいずれも、状:1枚の用紙に記載されたもの、であるが、内容から接合できるものは適宜行い、備考欄にその旨を記した。
4. 作成・宛先はできる限りすべて記した。
5. 年代の不明確なものについては、原則は原資料の記載通りに干支・月日を記し、未詳の場合は空欄とした。内容・関連記載などにより年次の推定が可能なものは()に記している。もとは書冊であったという資料群全体の性質により、資料1点ごとは月日の後に1件の出来事を記し、その後日談や処理状況などを後の日付を付して記し、さらに別件が続くという構成となっている。そのため、1点の資料中で月日が重複したり、不規則に並んでいたりするものもある。目録への掲載にあたっては、1点の資料の中で項目ごとに段落を変え、年代欄及び作成・宛名欄もそれに合わせて対応関係がわかるようにしている。
6. 「番号」欄は、受贈・整理前の状態で便宜上付された仮番号である。
7. 資料の記載内容により、①～⑪の小グループに分け、グループごとの順序は「番号」欄の数字の順としている。上記5で触れた資料の性質により、複数のグループに跨る資料もあるが、原則として最初(原資料の右側)の項目を優先してグループ分けを行った。ただし、保存状態(破損・虫損等)のため、資料の冒頭部分の読解が十分できないものもあり、その場合には次なる項目から読み取れる内容をもって、グループ分けをしている。
8. 備考には主に一括の状態や前欠・後欠など資料の状態に関する内容等の他、人名などで判明した限りの詳細を記載した。
9. 文字は原則として常用漢字を用いた。破損・虫損等による判読不明の文字は■で表記した。
10. 本文書群の整理は松永友和(関西大学大学院生・当時)・高久智広(当館学芸員・当時)が行い、解題の執筆は高久智広、目録の編集は三好俊(当館学芸員)・水嶋彩乃(当館学芸員)が担当した。

お願い

本目録に掲載されている資料には、江戸時代における被差別身分の呼称や、それを付した地名などが記載されたものがあります。これらの被差別身分は権力者が編成したもので、その一部の身分には、社会が忌避する役割を担わせていました。

私どもは、江戸時代における差別の歴史を正確に伝え、理解を深めるためには、これらの事実を隠蔽することは適当ではないという判断から、本書に掲載しています。

それは、一日も早く差別が解消されることを願い、その時代の社会全体の仕組みを明らかにしたうえで、問題の解決を考えていくことが大切だと考えるからです。

皆様におかれましては、この趣旨をお酌み取りいただき、江戸時代の身分制社会、さらには現代における人権問題の重要性についてご理解くださいますよう、お願い申し上げます。

兵庫勤番文書 解題

明和6年(1769)の上知により、兵庫・西宮及び灘目の尼崎藩領は幕府領に編入され、兵庫・西宮には大坂町奉行所の出張所である勤番所が置かれることになった。各勤番所には大坂町奉行所から与力・同心が月番で派遣され、これを兵庫勤番・西宮勤番と呼ぶ。このほか各勤番所には、飛騨高山代官所地役人から配置転換となった地付同心、新規採用の門番や牢守等が配置されており、兵庫勤番所には、これに加えて和田岬沖を航行する船舶の監視を役目とする船見番が置かれている。

本文書群は、仁木謙吉をはじめとする兵庫勤番与力のもとで作成されたもの。文書としての役目を終えた後、奈良県にある某寺院の襖の裏貼りとして再利用されていたが、近年になって修理のため襖を解体したところ発見された。

このような経緯を経ているため、当初の形態は失われているが、ほとんどが書冊を解体したものと思われる。前後関係が不明な断簡も多いが、勤番の実務実態に迫り得る文書を数多く含んでいる。例えば、勤番所は西摂地域の治安維持を主な役割の一つとしており、兵庫・西宮の非人組織の小頭を手下として火付・盗賊や無宿等の犯罪人の探索や捕縛にあたったが、この文書群には小頭らから届けられた探索書や捜査経緯、犯罪人の移送等に関する文書が散見される。

年表記のない文書が大多数だが、安永3年(1774)から同6年、寛政8年(1796)8月、文化5年(1808)3月・4月、慶応3年(1867)10月のものが確認できる。

兵庫勤番の活動に関するまとまった資料は、現時点では他に確認されておらず、これまで資料的制約から明らかにできなかった兵庫勤番所の役割や実態、さらには大坂町奉行所の支配のあり方を解明する上でも、極めて貴重な資料といえよう。

【参考文献】

- ・高久智広「明和上知と兵庫勤番所」(『ヒストリア』第240号、2013年)

通番号	番号	名称	年代	形状	作成	宛名	備考
①日雇吉兵衛・女房ちよ、行倒死人一件の吟味関係書類							
1	11	〔吉兵衛ちよ兩人一件ニ付承知ニ付〕	(10カ)月17日	状1	仁木謙吉 印	荻野四郎助様、由比半次郎様、大塩格之助様	宛先は大坂東西町奉行所内、兵庫上ヶ知方役人。勤番与力からの伺の取次・取計を担った。
2	12	〔吉兵衛ちよ兩人一件地付同心中差添役所へ差出〕	10月14日	状1	仁木謙吉	荻野四郎助様、由比彦之進様、大塩格之助様	
3	78	〔無宿与助死骸定例之通片付申渡〕	10月26日	状1	仁木謙吉	御役人中様、荻野四郎助様、由比彦之進様、大塩格之助様	
4	133	〔当津湊川往還行倒死あり小頭内意書申出、吉兵衛召捕の件〕		状1			前欠
5	136	〔吉兵衛日雇主西出町中村屋伊兵衛同人父弥助ら呼出し相糺〕	10月11日	状1	仁木謙吉	東西上ヶ知方御役人中様	後欠、136と接合可カ
6	141	〔弥助諸道具并吉兵衛ちよ兩人雑物等、所之者へ心近付候様申渡〕		状1			前欠、133と接合可カ
②盗賊、無宿関係							
7	1	〔北風六右衛門病氣代藤兵衛より品持来断出候ニ付小頭共へ風聞手当申付〕	10月朔日	状1	仁木謙吉 印	東盗賊方御役人中様	帳外れ
8	6	奉届口上(不正炭買取候無宿重右衛門病死ニ付届申上)	慶応3卯年10月27日	状1	宝球寺(印)	当津御番所	
9	13	〔播州姫路小林村百姓伊兵衛倅源蔵盗取候品預ヶ申付ニ付〕	10月17日	状1	仁木謙吉	東盗賊方御役人中様	
10	17	〔船大工町松屋藤左衛門倅定次郎へお尋ニ付呼出〕 〔播州姫路小林村百姓伊兵衛倅源蔵外一人、地付山崎慈三郎差添差出候人足賃并飯代など〕	10月23日	状1	仁木謙吉	東盗賊方御役人中様	13・14・20と関連
11	29	〔肥前廻米致盗売候一件之内与州松山奥居嶋藤右衛門所持の廻船宝来丸の件ニ付〕		状1			後欠
12	36	〔嘉兵衛女房まさ他六人、盗ニ付所預申付の件〕		状1			前後欠
13	37	乍恐口上(盗賊方同心吉見包三郎出役、渡海船売払の儀ニ付取調)		状1			後欠
14	62	ひかへ(播州姫路小林村百姓伊兵衛倅源蔵并無宿佐蔵一件)		状1			後欠
15	84	〔煙草屋治右衛門橋本屋泰次郎、小川屋甚四郎より不正の脇差買請の件〕	慶応3卯年11月3日	状1	切戸町月行司福田屋善右衛門(印)	当津御番所様	前欠
16	95	〔船大工町松屋藤左衛門倅定次郎ら召捕のため同心差遣〕		状1			前後欠
17	104	〔無宿長兵衛風体怪敷ニ付小頭共召捕内意書差出、相尋候処、魚棚町紙屋与兵衛方ニ而紛失大工道具盗り申と申〕 〔大坂表松島梅松一座歌舞伎興行の件〕		状1			

通番号	番号	名称	年代	形状	作成	宛名	備考
18	105	乍恐口上(盗賊方出役同心青木邦之助より小川屋甚四郎ら召捕の上、無宿伊豫の梅松三男駒吉より着類買受など不正につき御調、大坂表へ引連)(同心中より大和屋新七ら召捕の上、大和屋久兵衛らより着類・反物買請など不正につき御調、大坂表へ引連)(枅屋勇次郎・大和屋久兵衛一件)		状1			後欠
19	246	[川崎町備前屋佐左衛門方盗賊這入、紛失品書上]		状1			
③寺社関係							
20	2	[寺院月番書老枚 兵庫津寺社請印帳 取計申上]	卯10月2日	状1	兵庫勤番牧野平左衛門		帳外れ
21	5	[御触書順々廻候様申渡、寺院月番并能福寺■相渡]	10月6日	状1	仁木謙吉 印	片山一郎兵衛様、永田常之助様	宛先は大坂町奉行所寺社役
22	23	[須磨福祥寺開帳ニ付兵庫津両惣門建札願の件]	10月27日	状1	仁木謙吉 印	東寺社方御役人中様	
23	35	[西幸寺儀願出ニ付追沙汰申渡]	10月12日	状1	仁木謙吉 印	東西寺社方御役人中様	
24	38	[極楽寺要用ニ付上京、留守中寺役長伝寺へ頼置]	4月3日、5月7日	状1			後欠
25	47	[福厳寺、京都南禅寺へ罷登ニ付留守中範国寺へ頼置]	3月26日、4月2日	状1			後欠
26	49	[菓仙寺中普照院断出]	6月10日	状1			前後欠
		[魚棚町石屋治右衛門売用大坂表へ逗留ニ付五人組頭へ頼置]	6月10日、6月18日				
27	72	[京都鞍馬寺使僧例年の通当津旦那廻]	10月12日、10月22日	状1			
28	74	[御届之儀ニ付断出]	6月2日	状1			前後欠
		[浄業寺大坂御役所へ届ニ付罷登、留守中寺役済鱗寺相勤]	5月26日、5月晦日				
		[逆瀬川町年寄瓦屋五郎兵衛私用ニ付大坂表へ罷登]	5月27日、6月2日				
		[極楽寺]	5月27日				
29	86	[当津長伝寺儀末寺増福寺之儀ニ付大坂表へ断書差出]	文化5年辰4月6日	状1			後欠
		乍恐口上書(増福寺常岸命終ニ付常俊へご住職申付)	文化5辰年3月28日		兵庫津永沢町増福寺 印 同所本寺長伝寺 印	御奉行所	
30	115	[柳泉寺放談ニ付断書などの目録]		状1			
31	128	[神宮寺仮屋延長の件]		状1			前後欠
		[松平大膳太夫殿領分長州藤西浦直乗船頭作左衛門乗組喜兵衛病死]					
32	162	[菓仙寺、施飯鬼執行願]	文化5辰年4月2日	状1	兵庫津時宗菓仙寺普照院印、同寺中世尊菴印、右組合世尊菴印、落松院無住ニ付代世尊菴印、長楽寺 印	御奉行所	
33	184	[菓仙寺宗旨御改ニ付罷登、留守中普照院相頼]	3月28日、4月2日	状1	京都靈王山正法寺		前欠
34	215	[阿弥陀寺他11寺宗旨改ニ付大坂奉行所へ罷出]	3月28日、4月2日	状1			
35	216	[福厳寺御用本山京都南禅寺へ罷登、留守中範国寺代判]	5月26日、6月5日	状1			後欠

通番号	番号	名称	年代	形状	作成	宛名	備考
36	218	〔磯之町年寄綿屋権兵衛商 売用ニ付、大坂表へ罷登〕 〔世尊菴、京都本山正法寺よ り急用之為上京〕	5月27日、6月 朔日 6月6日	状1			
37	220	〔福厳寺、寺印調の件ニ付大 坂町奉行より召され上坂〕 〔法界寺、京都本山知恩院へ 要用ニ付上京〕	4月25日、4月 27日 4月27日、5月 3日、4月28 日、5月27日	状1			前欠
38	281	〔長伝寺西光寺等宗旨手形 差出〕 〔薬種屋仲間譲株などの件ニ 付伺のため大坂表へ罷登〕 〔東柳原町年寄和泉屋与三 左衛門讃州金毘羅へ参詣〕 〔松屋町大黒社地の木鳥居 朽損ニ付番所へ再建願〕 〔北宮内町年寄藤縄屋金兵 衛商用ニ付大坂表へ罷登〕	4月6日、4月 15日 4月6日 3月29日、3月 24日、4月2日 3月25日、3月 30日	状1			
④藤吉一件							
39	14	〔備前国奥郡牛窓でき町藤吉 盗之趣小頭申出之件ニ付〕	10月19日	状1	仁木謙吉	東盜賊方御役 人中様	後欠
40	20	〔備前国小嶋屋寅之助倅藤 吉一件ニ付神明町熊野屋吉 兵衛へ預置の大工道具持 参〕	10月22日	状1	仁木謙吉 印	東盜賊方御役 人中様	破損有 17も関連
41	107	藤吉雑物(南鐐、銀粉かんざ しなど書上)		状1			
⑤兵庫津での滞在(止宿、昼休など)							
42	30	〔黒田甲斐守帰城中、出在家 町絵屋清右衛門方へ止宿〕	5月15日	状1			後欠
43	31	〔会田伊右衛門代官所年貢 銀大坂へ通行の為、小広町 升屋長左衛門宅へ止宿〕	10月19日、20 日	状1			
44	32	〔播州加東郡河高村の医師 内用ニ付罷越〕	6月21日	状1			後欠
45	34	〔伊東監物、新在家町壺屋七 左衛門方昼休〕	3月15日	状1			
46	41	〔小野川才助組兵庫津御免 相撲ニ付小広町畑屋へ止 宿〕	3月17日、3月 23日	状1			
		〔千田川吉兵衛組相撲興行 ニ付神明町戎屋利右衛門方 へ止宿〕	3月17日、3月 23日				
47	43	〔森達五郎殿預り所上納銀大 坂へ通行の為、小広町明石 屋惣左衛門方へ止宿〕	10月19日、20 日	状1			
48	44	〔平岡彦兵衛代官所生野灰 吹銀の件ニ付神明町柳屋儀 右衛門方へ止宿〕	7月18日、同 日	状1			
49	52	〔又兵衛方へ止宿〕	同日	状1			前後欠
		〔丹後国成相寺大坂より帰寺 ニ付、慈光寺へ泊〕	6月3日、6月4 日				
50	56	〔三浦志摩守殿大坂加番仰 付ニ付西柳原町蔦屋勘右衛 門方へ御休〕	4月26日、同 日	状1			
		〔大坂堂島新地貳丁目大丸 屋正右衛門より〕	4月27日				後欠
51	63	〔平山甚吾他三名播州辺御 用ニ付神明町升屋方へ止 宿〕	2月19日、2月 20日、2月24 日、2月24日	状1			後欠
52	64	〔薬仙寺小見世物願の件ニ 付大坂江戸堀五丁目小笹永 五郎ら止宿〕	3月3日、4月 11日	状1			後欠
53	65	〔神明町井筒屋又兵衛方止 宿〕 〔神明町樽屋甚右衛門方止 宿カ〕	2月3日	状1			前後欠

通番号	番号	名称	年代	形状	作成	宛名	備考
54	66	〔小野和泉守殿帰城途中新在家町網屋佐右衛門方へ止宿〕	4月17日	状1			後欠
		〔会田伊左衛門〕	4月20日				
55	68	〔会田伊右衛門代官所年貢銀の件ニ付神明町柳屋儀右衛門宅へ止宿〕などの件	12月11日、12月12日	状1			後欠
56	69	〔菅谷弥五郎倉敷代官所年貢銀の件ニ付手代小広町釘屋源左衛門方へ止宿〕	12月18日、同日	状1			後欠
		〔蓑笠之助代官所備後国上下より上納銀の件ニ付手代大坂表へ罷越、神明町綿屋小兵衛方へ止宿〕	12月19日、20日				
57	71	〔右利右衛門方へ止宿カ〕	同日	状1			前後欠
		〔京極壱岐守殿帰国ニ付西柳原町木屋宇兵衛方へ昼休〕	8月17日、同日				
58	96	〔井筒屋又兵衛方へ昼休〕		状1			前欠
59	109	〔松平長門守参勤ニ付新在家町壺屋七左衛門方へ昼休の旨先触到来〕		状1			
		〔切戸町年寄に尋之儀ニ付、東御役所へ罷出候様申渡旨目安方より申来〕					
		〔西宮内町魚屋甚兵衛居宅普請相仕舞ニ付、表通板囲取払〕					
60	113	〔神明町止宿人等書上〕		状1			
61	127	乍恐口上(西柳原町播磨屋源助方へ止宿人名前書上)		状1			後欠
62	151	〔相撲興行中小広町車屋次右衛門ら止宿人数書上〕	2月15日、2月20日	状1			
63	179	〔止宿之義、与兵衛断出〕	12月19日	状1			前欠
		〔万年七左衛門代官所上納銀の件ニ付小広町旅宿へ止宿〕	12月19日、12月20日				
64	182	〔森対馬守預り所上納銀の件ニ付神明町旅宿に止宿〕	2月20日、2月朔日	状1			前欠
65	185	〔松平左京亮殿帰國中神明町井筒屋又兵衛方へ止宿〕	7月23日、同日	状1			
66	188	〔新在家町網屋佐左衛門断出〕		状1			前欠
		〔(太田)一甫病氣ニ付今暫逗留〕	7月晦日、9月19日				
		〔松平讃岐守殿帰國中新在家町網屋新九郎宅へ止宿〕	6月10日				
67	191	〔青木楠五郎代官所上納銀の件ニ付播州赤穂郡真広村庄屋、神明町樽屋甚兵衛方へ止宿〕	10月13日	状1			前欠
68	194	〔代官内方鉄五郎上納銀の件ニ付、井筒屋又兵衛方へ昼休〕	10月18日	状1			前欠
		〔早川八郎左衛門上納銀の件〕	10月18日				
69	195	〔断出〕		状1			前欠
		〔備中笠岡代官野村彦右衛門、江戸表へ御越ニ付新在家町壺屋七右衛門方へ止宿〕	5月15日、同月6日				
70	196	〔松平内蔵頭参勤中、神明町井筒屋又兵衛方へ昼休〕	午4月朔日、同日	状1			
71	197	〔手代庄助呉服商用ニ付鍛冶屋町角屋清五郎方へ逗留〕	7月朔日	状1			前欠
72	198	〔会田伊右衛門殿代官所上納銀の件ニ付、小広町布屋長四郎方へ止宿〕	同21日	状1			前欠

通番号	番号	名称	年代	形状	作成	宛名	備考
73	200	〔酒井順吉、神明町井筒屋又兵衛方へ止宿〕 〔中村庄左衛門代官所備中国笠岡より大坂へ遣上納銀の件ニ付神明町座古屋弥兵衛方へ止宿〕	同13日 6月13日	状1			前欠
74	202	〔出在家町絵屋清右衛門方へ昼休〕 〔会田伊右衛門預り所上納銀の件ニ付手代ら井筒屋又兵衛方へ止宿〕	同日、3月19日	状1			前後欠
75	203	〔万年七郎右衛門預り所上納銀の件ニ付手代ら小広町布屋長四郎方へ止宿〕	3月12日	状1			前欠
76	204	〔唐銀65箇長崎奉行新見加賀守役人長崎より大坂へ通行途中、神明町井筒屋又兵衛方へ昼休〕	9月9日、同日、10月11日	状1			前後欠
77	209～210	〔辻六郎左衛門代官所御城米廻船の件ニ付小広町明石屋方へ止宿〕 〔宰領井関磯右衛門等森対馬守預り所大坂への年貢の件ニ付神明町樽屋甚兵衛方へ止宿〕 宿届帳	正月6日 午正月18日、同19日 安永三午年方同六酉年迄	状1			210…209続き 「正月ヨリ」
	211	樽屋六■書状	寛政8辰年5月27日	状1	西柳原町家主 樽屋六■		209裏側
78	212	〔高野山一心院谷福生院例年の通当津札納のため富屋町柴屋平次郎方へ止宿〕などの件 〔松平讃岐守参勤中、神明町井筒屋又兵衛方へ止宿〕 〔播州廣嶺山廣嶺肥前、当地へ着〕	9月8日、10月11日 9月8日、同9日 9月17日	状1			前後欠
79	213	〔出立之旨断出〕 〔代官竹垣三右衛門殿当地検見御用ニ付神明町井筒屋又兵衛方へ止宿〕 〔御代官所竹垣三右衛門検見御用ニ付、神明町井筒屋又兵衛方へ止宿〕	8月23日、24日 酉9月5日、9月6日	状1			破損有
80	214	〔代官羽倉権九郎殿検見御用のため播州御越ニ付神明町脇屋小兵衛方へ止宿〕 〔脇坂淡路守参勤中、井筒屋又兵衛方へ止宿〕 〔御普請役植野直次郎長崎へ御通ニ付、小廣町明石屋惣左衛門方へ止宿〕	8月22日、8月23日 8月23日、同日 酉8月23日	状1			214と接合可カ
81	223	〔川井源四郎長崎御用ニ付神明町井筒屋又兵衛方へ止宿〕 〔御普請役(久松野?)大八大坂より長崎へ御用ニ付神明町柳屋儀右衛門方へ止宿〕	3月27日 3月27日	状1			後欠
82	226	〔御勘定役前田喜兵衛長崎より江戸表へ御越ニ付、神明町柳屋儀右衛門方へ昼休〕 〔御普請役内藤浅次郎長崎より御帰ニ付、小廣町米屋長左衛門方へ昼休〕	同11日、10月11日 10月11日、10月11日	状1			前欠
83	229	〔松平肥前守帰国ニ付新在家町肥前屋粘右衛門方へ止宿〕 〔細川和泉守参勤中、神明町井筒屋又兵衛方へ小休〕	3月20日 3月21日、同日	状1			
84	230	〔和泉守、神明町井筒屋又兵衛方へ小休〕	同日	状1			前後欠

通番号	番号	名称	年代	形状	作成	宛名	備考
85	231	〔松平越後守参勤中神明町井筒屋又兵衛方へ止宿〕 〔松平大和守参勤中、当津へ着〕 〔森対馬守預所上納銀の件ニ付小広町釘屋源八郎方へ止宿〕	3月21日、3月22日 3月22日 2月18日	状1			
86	233	〔小笠原三右衛門出在家町小豆屋助右衛門方へ昼休〕 〔松平大膳太夫殿米船破船ニ付大坂蔵屋敷詰役人罷越、出在家町絵屋清右衛門方へ止宿〕	3月15日、同日 6月25日、7月朔日	状1			
87	234	〔鍋嶋常丸参勤中、神明町井筒屋又兵衛方へ昼休〕 〔伊達遠江守帰城ニ付、出在家町絵屋清右衛門方へ止宿〕	7月15日、同日 5月26日	状1			
88	236	〔松平淡路守入部ニ付、神明町井筒屋又兵衛方へ昼休〕 〔出立之旨断来〕	5月29日、5月晦日 同9日	状1			前欠
89	237	〔揖斐造酒助殿御支配所豊後国日田より上納銀の件ニ付手付神明町錦屋小兵衛方へ止宿〕などの件 〔森対馬守預所播州野井野より大坂へ越ニ付才領神明町針口屋与七郎方へ止宿〕 〔味噌屋安右衛門断来〕	西12月11日、同12日 10月27日	状1			前欠
90	240	〔万年七郎右衛門代官所備中より大坂へ上納銀の件ニ付、手代神明町井筒屋又兵衛方へ止宿〕 〔御普請方松井官兵衛長崎より江戸へ罷帰ニ付、小広町升屋長八郎方へ昼休〕	10月18日、10月19日 10月11日	状1			
91	241	〔御勘定松山惣十郎長崎より江戸へ罷帰ニ付、神明町柳屋儀右衛門方へ昼休〕 〔辻六郎左衛門代官手代御用ニ付、南仲町塩屋清兵衛方へ止宿〕	10月11日 7月25日、同26日	状1			
92	242	〔三浦志摩守大坂御加番ニ付、神明町井筒屋又兵衛方へ止宿〕 〔松平越後守帰城中、出在家町絵屋清右衛門方へ昼休〕	7月28日、7月29日 6月22日	状1			
93	243	〔会田伊右衛門代官所上納銀の件ニ付神明町井筒屋又兵衛方へ止宿〕 〔阿部備中守参勤中、神明町井筒屋又兵衛方へ昼休〕	6月22日、同23日 3月14日	状1			
94	244	〔毛利讃岐守参勤中、神明町井筒屋又兵衛方へ止宿〕 〔脇坂淡路守参勤中、神明町井筒屋又兵衛方へ昼休〕 〔木下肥後守参勤中、神明町井筒屋又兵衛方へ止宿〕	3月15日、3月16日 3月12日、同日 3月13日	状1			
95	245	〔京極能登守参勤中、新在家町網屋新九郎方へ昼休〕 〔島津但馬守参勤中、神明町井筒屋又兵衛方へ止宿〕	3月18日、同日 3月18日、3月19日	状1			
96	247	〔摂州住吉社家山田屋甚太夫、当津旦中へ相越、東出町宿嶋屋吉右衛門方へ止宿〕	11月19日、11月7日	状1			
97	248	〔吉野小松院健者例年通旦下札入ニ付、西柳原町帯屋勘右衛門方へ逗留〕 〔出立之旨断来〕	11月21日、11月26日 12月13日	状1			前欠

通番号	番号	名称	年代	形状	作成	宛名	備考
98	249	〔会田伊右衛門代官所大森より大坂へ上納銀の件ニ付小広町升屋貴右衛門方へ止宿〕	12月13日、同14日	状1			
		〔森達五郎預所上納銀の件ニ付才領小廣町明石屋惣左衛門方へ止宿〕	12月18日、12月19日				
99	251	〔松平大膳太夫帰国中出在家町絵屋方へ昼休〕	5月13日、同日	状1			
		〔京極能登守帰城ニ付、新在家町網屋新九郎方へ昼休〕	5月14日				
100	252	〔關陽之助在所より御越ニ付、井筒屋又兵衛方へ止宿〕	10月12日、同13日	状1			
		〔高野山一心院谷福生院例年の通当津札納ニ付、富屋町あら物屋佐兵衛方へ止宿〕	10月13日、11月3日				
101	253	〔細川越中守帰国中、和田崎町網屋惣兵衛方へ止宿〕	5月17日、5月18日	状1			
		〔松平佐兵衛佐帰城ニ付、神明町井筒屋又兵衛方へ昼休〕	5月18日				
102	256	〔戸田因幡守参勤中井筒屋又兵衛方へ止宿〕	5月15日、同16日	状1			
		〔酒井雅楽頭参勤中、神明町井筒屋又兵衛方へ昼休〕	5月16日、同日				
103	257	〔定芝居興行ニ付役者大坂荒田染松一座40人算所村竹本屋仁兵衛方へ止宿〕	11月9日、同28日	状1			
		〔大坂豊嶋新地二丁目大丸屋五市郎手代庄助呉服商内ニ付、鍛冶屋町角屋清五郎方へ止宿〕	2月15日、4月13日				
104	258	〔会田伊右衛門代官所備後国より大坂へ上納銀の件ニ付小広町升屋長八郎方へ止宿〕	2月18日、同19日	状1			
		〔田坂源左衛門・永田由松播州辺御用ニ付神明町井筒屋又兵衛方へ止宿〕	2月19日、2月20日、2月24日、2月24日				
105	261	〔新在家町網屋吉右衛門病氣治療のため播州加東郡河高村医師呼寄せ町内北国屋与兵衛方へ逗留〕	4月27日、5月29日	状1			前後欠
		〔立花左近帰城ニ付神明町井筒屋又兵衛方へ止宿〕	5月8日				
106	262	〔御勘定松井善八郎長崎より帰府ニ付新在家町肥前屋粘右衛門方へ昼休〕	同日	状1			
		〔有馬中務大輔参勤中、神明町井筒屋又兵衛方へ止宿〕	5月10日				
107	263	〔細川越中守嫡子細川中務大輔参府ニ付本陣網屋惣兵衛方へ止宿〕	5月14日	状1			後欠、1774年カ
		〔平岡彦兵衛代官所年貢銀生野より大坂へ上納ニ付手代神明町柳屋義右衛門方へ止宿〕	午正月19日				
108	265	〔阿蘭陀人三人役人等附添江戸参府の為当津へ〕	午正月28日	状1			
		〔揖斐富次郎上納銀の件ニ付神明町井筒屋又兵衛方へ止宿〕	5月20日、21日				
109	265	〔建部内匠頭御在所へ御帰ニ付、神明町井筒屋又兵衛方へ止宿〕	5月22日	状1			
		〔池田信濃守参勤中新在家町網屋新九郎方へ止宿〕	3月15日、同16日				
110	265	〔松平左兵衛佐参勤中、井筒屋又兵衛方へ昼休〕	3月16日	状1			

通番号	番号	名称	年代	形状	作成	宛名	備考
109	266	〔川井源四郎長崎より御帰中、神明町井筒屋又兵衛方へ止宿〕	6月7日、同日	状1			
		〔御普請役萩野又八長崎より帰國中、神明町柳屋儀右衛門方へ昼休〕	6月7日、同日				
110	269	〔京祇園社の者当津へ罷下、前田屋才次郎方へ止宿〕	6月27日、6月9日、6月4日	状1			
		〔平岡彦麿支配所、但州生野灰吹銀大坂へ上納ニ付、神明町井筒屋又兵衛方へ昼休〕	7月18日				
		〔永井能登守帰城ニ付、新在家町網屋佐左衛門方へ止宿〕					
111	270	〔平岡彦兵衛代官所生野銀山灰吹銀上納の件ニ付、神明町柳屋儀右衛門方へ止宿〕	3月2■日	状1			後欠
		〔阿蘭陀人三人出在家町絵屋清右衛門方へ止宿〕	3月晦日				
112	271	〔寺社家見聞御用ニ付磯矢与一兵衛・大須賀文次郎神明町井筒屋又兵衛方へ止宿〕	3月22日、同22日	状1			
		〔同伴ニ付清水弥三左衛門・中村八左衛門神明町柳屋儀左衛門方へ止宿〕	3月22日、3月24日				
113	273	〔会田伊右衛門代官所上納銀の件ニ付神明町井筒屋又兵衛方へ止宿〕	■月19日	状1			
		〔京都鞍馬寺月性院使僧智信坊、旦那廻りニ付、飯野屋六左衛門請人方へ止宿〕	6月22日、7月2日				
114	275	〔建部内匠頭参勤中神明町井筒屋又兵衛方へ止宿〕	3月26日、同27日	状1			
		〔信州戸隠山宝珠院并家来用事ニ付小物屋町瓜屋庄左衛門〕方へ止宿〕	3月27日、4月14日				
115	276	〔七宮開帳賑の為嵐万三郎一座之者算所村山城屋平四郎方へ止宿〕	4月3日、4月18日	状1			
		〔揖斐富次郎上納銀の件ニ付神明町井筒屋又兵衛方へ止宿〕	4月17日				
116	282	〔神明町井筒屋又兵衛方へ昼休〕	同日	状1			
		〔松浦老岐守参勤中、新在家町網屋新九郎方へ昼休〕	同日、同日				
		〔長崎御奉行水野若狭守長崎より御帰ニ付、神明町井筒屋又兵衛方へ止宿〕	10月13日、同日				
		〔御普請役原田惣十郎等御帰ニ付、小廣町明石屋惣左衛門方へ昼休〕	10月13日				
117	283	〔播州廣峯山廣嶺肥前守例年之札納ニ付なだ屋七兵衛方へ止宿〕	9月7日	状1			後欠
		〔関備前守御在所へ御越、西柳原町帯屋文右衛門方へ昼休〕	9月7日				
		〔松平出羽守参勤中、出在家町鷹見右近右衛門方へ昼休〕	9月8日				
		〔松平安芸守参勤中、新在家町網屋新九郎方へ昼休〕	同10日				
		〔木下淡路守御在所へ御越、井筒屋又兵衛方へ止宿〕	9月19日				
118	285	〔毛利讃岐守在所御越ニ付神明町井筒屋又兵衛方へ昼休〕	5月9日、同日	状1			

通番号	番号	名称	年代	形状	作成	宛名	備考
119	286	〔関小十郎在所御越ニ付神明町井筒屋又兵衛方へ昼休〕 〔松平肥前守参勤中、新在家町肥前や粘右衛門方へ止宿〕 〔京都鞍馬寺月性院使僧智信坊例年通当津旦那廻りニ付、神明町佐野屋六左衛門方にて止宿〕	5月10日 10月15日、10月16日 10月17日	状1			後欠
⑥住人の兵庫津外への移動							
120	9	〔兵庫津北仲町年寄塩屋六右衛門他二名宗旨扣巻并印形持参御役所罷出申渡〕	10月13日	状1	仁木謙吉 印	東寺社方御役人中様	
121	28	〔小物屋町菊屋清兵衛、東目安方へ罷出の件〕		状1			後欠
122	50	〔和田崎町柿屋十右衛門、相用候酒造道具の件〕					
122	50	〔匠町年寄箔屋庄左衛門商用紀州へ罷下ニ付町用五人組頭へ頼置〕	8月13日	状1			後欠
123	51	〔諸問屋年寄北風荘右衛門等願出ニ付大坂表へ罷登〕などの件	9月12日	状1			後欠
124	58	〔御尋ニ付断出〕	3月14日	状1			前後欠
		〔富屋町年寄京屋善右衛門商売京都へ罷越ニ付留守中五人組頭へ開置、善右衛門彼地ニ而病氣養生〕	3月18日、3月25日、同月24日、辰3月15日				
125	87	〔北仲町年寄塩屋六右衛門他二名■并印形持参御役所罷出申渡〕	■月11日	状1	東寺社方役人(印)	仁木謙吉様	破損有
126	89	〔馬借年寄庄兵衛商用大坂罷登〕	4月12日、同16日	状1			後欠
127	94	〔差返シ開置候事〕		状1			前後欠
		〔北浜惣代原田哲蔵大津役所へ御用ニ付罷出〕					
		〔門口町藍野屋源四郎、在牢播磨屋茂七より差入相願〕					
128	159	〔庄屋仙左衛門御用ニ付大津御役所へ罷登〕	11月12日	状1	河方虎之助、市川定八、山崎徳次郎、山内今右衛門、嶋田唯次郎		後欠
		〔北宮内町生駒弥兵衛かし家近江屋清吉へ仰渡候儀〕					
129	174	〔岡方名主正直屋弥右衛門私用ニ付上坂〕	12月18日	状1	由比半次、河合善右衛門、山崎徳次郎、山内今右衛門、嶋田唯次郎		後欠
		〔東出町大川屋武兵衛灘両組水車請負人并大坂両種物問屋年行司より出入〕					
130	180	〔書付以断出〕		状1			前欠
		〔関屋町年寄筆屋五兵衛商用ニ付大坂表へ罷登〕	4月3日、5月4日				
		〔西宮内町年寄樽屋佐古衛門等地方用ニ付五條池田仙九郎役所へ罷登〕	5月8日、5月18日				
131	181	〔湊町年寄茶屋藤兵衛町内水帳などの件ニ付大坂表へ伺〕	辰4月14日、4月26日	状1			後欠
		〔船大工町嶋崎屋茂右衛門商用ニ付摂州明石へ罷越〕	4月16日				
132	187	〔本光■大坂表へ罷越〕	2月朔日、2月14日	状1			前欠
		〔宮内町年寄伝法屋八五郎売用ニ付大坂表へ罷越〕	2月朔日				

通番号	番号	名称	年代	形状	作成	宛名	備考
133	190	〔■町年寄瓜屋、遠州秋葉権現参詣〕	4月8日	状1			前欠
134	192	〔馬借年寄荒物屋庄兵衛商用二付大坂表へ罷登、留守中馬役へ仰付〕	6月18日	状1			前欠
135	193	〔関屋町年寄讃岐屋徳右衛門商用二付紀州表へ罷登、留守中御用五人組頭へ仰付〕	8月13日、8月22日	状1			後欠
		〔東出町年寄鍋屋三右衛門要用二付大坂表へ罷登〕	8月15日				
136	199	〔源蔵船方願二付〕	4月15日、4月23日	状1			前欠
		〔新在家町年寄肥前屋粘右衛門私用二付大坂表へ罷登〕	4月16日、4月26日				
		〔西宮町年寄樽屋佐五右衛門商用二付上坂〕	4月17日				
		〔備前屋治朗兵衛廻米御用向二付大坂表へ罷登〕	4月22日				
137	201	〔■外出二付御用之儀同役治朗兵衛へ頼置〕	10月15日	状1			前後欠
		〔宮内町年寄饒屋源七郎売用二付上坂〕	10月17日、10月18日				
		〔長伝寺・世尊庵等鉄砲改〕	10月17日				
138	217	〔書付以断出〕	同17日	状1			前欠
		〔神明町井筒屋又兵衛、和州五条代官所へ罷登〕	4月8日、4月21日				
		〔人馬役惣名代吉兵衛、和州五条池田仙九郎代官所へ宿方の儀二付罷登〕	4月9日、4月28日				
		〔船役人源兵衛内用二付上坂〕	4月12日、4月18日				
139	219	〔五人組頭熊野屋喜兵衛相勤〕		状1			前欠
		〔宮前町年寄貝屋市左衛門商用二付罷越、留守中御用之義五人組頭相勤〕	辰4月22日、4月18日、同29日				
		〔永福寺本山用二付京都へ罷越、留守中長伝寺代判〕	4月20日				
		〔西光寺中専正院・永宝院本山用二付上京〕	4月21日、5月21日				
140	221	〔薬種屋年行司古手屋盛右衛門薬種株新加入譲り株死跡讓名替張紙願二上坂〕	10月6日、10月17日	状1			
		〔福厳寺法用二付京都南禅寺へ罷越、留守中福海寺代判〕	10月9日、10月18日				
		〔東出町年寄鍋屋三右衛門商用二付大坂表へ罷越〕	10月9日				
141	222	〔新在家町年寄肥前屋粘右衛門私用二付大坂表へ罷登、留守中御用五人組頭壺屋七左衛門仰付〕	7月25日、7月29日	状1			後欠
		〔松屋町大黒社など大破二付建修覆大坂奉行所へ願出、正遷宮、安全御祈祷〕	8月5日				
142	224	〔北浜・南浜町々宗旨巻納のため罷登〕	9月2日、10月8日、10月3日、10月10日	状1			
		〔諸問屋年寄松屋治郎兵衛等、御影村之もの共相手取問屋ヶ間敷差留出入願入〕	10月5日、10月12日				
143	227	〔神明町・小広町年寄井筒屋又兵衛商用二付上坂〕	6月17日、6月22日	状1			
		〔小物屋町年寄瓜屋九右衛門商用二付大坂表へ罷登〕	同月25日、6月29日				
		〔細辻子町・鳥屋町兼帯年寄鍋屋藤右衛門、金銀出入願二付上坂〕	7月17日				
144	228	〔東柳原町年寄和泉屋与三左衛門京都へ罷登〕	正月23日	状1			前欠

通番号	番号	名称	年代	形状	作成	宛名	備考
145	232	〔木戸町年寄柴屋伊左衛門 商売用ニ付上坂〕 〔西出町年寄貝屋市郎兵衛 要用ニ付大坂へ罷登〕 〔柳泉寺本山用ニ付上京〕 〔■■寺、上坂カ〕	正月8日、2月 6日 正月12日、2 月25日 正月13日 6月2日	状1			
146	235	〔法界寺公用ニ付上坂、留守 寺役長伝寺相勤〕 〔魚棚町年寄油屋弥右衛門 私用ニ付大坂表罷越〕 〔永福寺西光寺一件ニ付上 坂〕 〔長伝寺宗旨改ニ付罷登〕	5月28日、6月 2日 6月朔日、6月 4日 6月2日、6月7 日 辰4月2日	状1			前後欠
147	238～ 239	〔算所村年寄荒物屋惣右衛 門水帳絵図貼紙并宗旨巻脇 書伺ニ付罷登〕 〔■■、宗旨巻の件ニ付罷 登〕	4月3日 9月■日	状1			前後欠
148	250	〔柳泉寺用に付留守中宝球 寺取斗〕 〔小渡海役人兵助私用ニ付 大坂表へ罷登〕 〔馬借年寄庄兵衛、大坂表へ 罷登〕 〔西出町大和屋宇八、貸付〕	9月9日 9月10日、9月 6日 8月29日、9月 3日 9月8日	状1			
149	255	〔諸問屋年寄松屋治郎兵衛 病氣代利兵衛同惣名代油屋 吉兵衛網屋与兵衛、願有ニ 付罷登〕〔馬借年寄庄兵衛商 用ニ付上坂〕〔宗旨巻改ニ付 岡方町役人大坂表へ罷登〕 などの件	9月21日、9月 24日、9月26 日、9月24日、 9月28日、10 月朔日、10月 9日	状1			
150	259	〔粘右衛門、大坂へ罷登〕 〔諸問屋年行司讃岐屋徳右 衛門、願有ニ付上坂、株返上 之儀願ニ付〕 〔北宮内町年寄藤縄屋金兵 衛、私用ニ付上坂〕 〔茂右衛門、罷帰〕	9月16日 8月26日、9月 13日 8月28日	状1			前後欠
151	260	〔当津貸取柚木挽■■頭今出 在家町字兵衛、例年通り京都 中村藤三郎役所へ年頭八朔 相勤〕 〔西光寺、本堂再建地形之砂 取運ニ付罷登〕 〔諸問屋年行司貝屋市左衛 門・肥前屋…〕 〔神光院罷帰〕	8月23日、寅8 月29日 8月24日、 8月25日 8月8日	状1			前欠
152	264	〔和州五條池田仙九郎代官 所へ茶船持共願筋有ニ付茶 船鍋屋長兵衛罷出〕 〔福厳寺、大坂町奉行所より 尋ニ付上坂、留守中恵林寺 代判〕 〔東柳原町年寄和泉屋与三 左衛門地方用ニ付、大坂表 へ罷登〕 〔船大工町年寄嶋屋茂右衛 門商用ニ付播州明石辺へ罷 越、留守中御用五人組頭へ 仰付〕	8月5日、8月 16日 5月11日 5月12日 5月12日	状1			後欠
153	267	〔細辻子町烏町兼帯年寄御 影屋治右衛門、売用ニ付上 坂〕 〔福厳寺法用ニ付播州の形 海兵寺へ罷越、留守中範国 寺代判〕	11月16日、11 月22日 11月16日、11 月23日	状1			

通番号	番号	名称	年代	形状	作成	宛名	備考
154	268	〔神明町井筒屋又兵衛本陣願筋ニ付大坂御役所へ罷登〕 〔■■■、罷帰〕 〔諸問屋年寄松屋次郎兵衛ら西番所へ願有ニ付上坂〕 〔西宮内町樽屋善太郎病氣ニ付代善左衛門、拝借の酒造株返上ニ付罷登〕 〔船大工町年寄嶋崎屋茂右衛門商用ニ付大坂表へ罷登〕	11月16日、已12月3日 9月20日 8月19日、9月21日 8月22日、同24日 8月22日、8月26日	状1			前後欠
155	272	〔■■■、罷帰〕 〔真光寺塔頭龍藏院順清、京都市姫金光寺へ転住、寺印修善院預り置、大坂表へ罷登〕 〔廻米船賦役備前屋治郎兵衛御廻米御用向ニ付上坂より罷帰〕	5月4日 4月29日、5月3日 5月4日	状1			前欠
156	274	〔恵林寺、当津惣寺院惣名代として大坂町奉行所へ罷越〕 〔穀物中買年頭御礼として大坂町奉行所へ罷登〕 〔当津年貢米、京二条へ納〕	正月8日、正月15日 正月16日 正月18日	状1			後欠
157	277	〔関屋町年寄筆屋五兵衛、売用ニ付明石へ罷越〕 〔範国寺寺印大坂表ニ而紛失ニ付大坂御番所へ恵林寺加印を以届出〕	4月22日、5月朔日 4月23日	状1			
158	278	断出聞置候事 〔永福寺本寺用ニ付上京〕 〔船大工町年寄嶋崎屋茂右衛門商用ニ付大坂表へ罷登〕 〔済鱗寺大坂西寺社方〆印形持参呼出ニ付持来〕	4月4日 4月5日、4月8日 辰4月6日	状1			前後欠
159	279	〔極楽寺本寺用ニ付上京〕 〔久遠寺塔頭宝珠院日积隠居、本山より日體住職申付、寺印大坂御奉行所へ御届ニ付上坂〕 〔諸問屋年寄備前屋次郎兵衛、八朔御礼ニ大坂表へ罷登〕	7月25日、8月3日 7月27日、8月3日 已7月27日、8月14日	状1			
160	280	〔当津賃取柚木挽組頭今出在家町三木屋宇兵衛、例年通り京都中村藤三郎役所へ年頭の礼に罷出上京〕 〔七宮大明神別当神宮寺祈禱卷数献上ニ付参殿〕 〔細辻小町・鳥屋町年寄御影屋次右衛門売用上坂ニ付留守中御用五人組頭へ仰付〕などの件	3月15日、3月29日 3月15日、3月25日 3月24日	状1			
161	287	〔■■■、罷帰〕 〔福厳寺組合範国寺并檀家兩人への御尋〕 〔範国寺本山用ニ付上京、留守中恵林寺代判〕 〔長伝寺本山用ニ付上京、留守中寺役済鱗寺頼置〕 〔浄業寺本山用ニ付上京、留守中寺役極楽寺頼置〕	同16日 5月13日 5月14日、6月12日 5月14日、5月21日 5月15日、5月21日	状1			前欠
⑦紛失、事件							

通番号	番号	名称	年代	形状	作成	宛名	備考
162	3	〔湊川北堤下手にて行倒、東川崎町淡路屋しか代判甚右衛門倅藤蔵怪我死、東出町魚屋ふさ代判吉兵衛井戸はま死、取計申上〕	卯10月2日	状1	兵庫勤番牧野平左衛門		
163	19	〔嶋屋久五郎船沖船頭由兵衛并宿主牢屋敷へ罷出ニ付〕	10月24日	状1	仁木謙吉 印	東盜賊方御役人中様	
164	21	〔逆瀬川町切戸町の者尋ニ付人別帳持参の上罷出ニ付〕	10月26日	状1	仁木謙吉 印	東目安方御役人中様	
165	59	乍恐口上(盜賊方青木邦之助出役、紛失品ニ付)		状1			後欠
166	67	〔半右衛門倅徳松相果ニ付、死骸取置の件〕 〔地付三人并船見番御門番共扶持米通帳庄屋より差出ニ付河方虎之助請取印形〕		状1			前後欠
167	70	〔死人喜兵衛の葬送ニ付〕		状1			後欠
168	77・42	〔品物紛失ニ付永沢町姫路屋喜兵衛呼出〕	10月11日	状1	仁木謙吉 印	東盜賊方御役人中様	前欠
169	79	〔盜賊方よりの件拙者方へも掛合願の件〕	10月6日	状1	西盜賊方役人	御勤番様	前欠
170	85	覚(船大工町淡路屋惣兵衛紛失物の件)	9月28日	状1	牧野平左衛門	東盜賊方御役人中様	
171	88	覚書(佐比江新地島やふん代判甚蔵代又兵衛より紛失物の儀、残の品は小頭共へ風聞手当申付)	9月27日	状1	牧野平左衛門 印	東盜賊方御役人中様	
172	90	〔門口町京屋安右衛門かし家池田屋与八博奕一件ニ付召捕之处家出〕		状1			後欠
173	100	〔西柳原町植松屋十右衛門病氣代儀兵衛より紛失物の儀、残の品は小頭共へ風聞手当申付〕	10月9日	状1	仁木謙吉 印	東盜賊方御役人中様	
174	101	〔水主又四郎相果、船宿鍛冶屋町金場屋善左衛門方より死骸葬頼来〕	11月11日	状1	河方虎之助、市川定八、山崎徳次郎、山内今右衛門、島田唯次郎		
175	108	〔町方夜廻の為、西宮内町へ罷出、同町の者罷出ニ付不取締の儀無様番人へ申渡〕 〔西大路町関田屋甚右衛門借屋妙法寺屋勘兵衛御尋ニ付御召のところ家出ニ付〕		状1			
176	110	〔米屋治兵衛願出の件〕	11月22日	状1	河方虎之助、市川定八、山崎徳次郎、山内今右衛門		前後欠
177	138	〔久留嶋祥丸殿領分豊後国日田郡上手村百姓利右衛門倅改吉、小物屋町岡方惣会所門先に行倒〕 乍恐口上(大坂盜賊方同心青木郡助旅宿小広町豊嶋嘉兵衛宅へ出役、紛失品の件ニ付)	慶応3卯年10月29日	状1	佐比江新地月行司渡海屋伊兵衛(印)	当津御番所様	
178	139	乍恐口上(南中町油屋庄助日雇出在家町金右衛門盗ニ付大坂表へ引進入牢)	慶応3卯年10月27日	状1	南中町月行司油屋栄助(印)		
179	140	〔西勘定方へ蠟燭通箱一つ船便で差出〕 〔北宮内町清吉召捕入牢〕	10月8日	状1	工藤伊織、村上徳左衛門、山崎徳次郎、山内今右衛門、嶋田唯次郎		前後欠

通番号	番号	名称	年代	形状	作成	宛名	備考
180	144	〔東御役所への御用状船便ニ差出〕	11月7日	状1	河方虎之助、市川定八、山崎徳治郎、山内今右衛門、嶋田唯次郎		
181	146	〔湊川往還辺東堤に見馴男非人行倒死〕 〔伊左衛門病氣代召仕仁兵衛月行司荒物屋甚左衛門断出〕 〔東出町網屋甚兵衛借家生船屋りう宅不在中品物紛失、東西盗賊方へ申遣〕 〔東出町木屋七三郎、同町播磨屋三右衛門相手取証文銀出入〕		状1			前後欠
182	147	〔当津大墓合就前堂前に見馴男非人行倒死の件〕		状1			前欠
183	157	〔嶋屋利助船沖船頭庄作水主又四郎、病死ニ付死骸葬片付〕		状1			
184	161	〔■■■、牢屋敷へ罷出〕 〔摂州大坂岡崎町川野屋正三郎船沖船頭庄八水主備前国児嶋郡小串村十兵衛病死〕		状1			前後欠
185	163	〔御断延引〕 〔門口町藍野屋源四郎、東盗賊方より牢屋敷へ出頭申付〕	12月23日	状1	由比半次、河合善右衛門、山崎徳次郎、山内今右衛門		前後欠
186	168	〔当津文右衛門博奕一件ニ付召捕のところ不具合〕		状1			前後欠
⑧役人関係							
187	4	〔東上知方与力へ申上〕	10月4日	状1	仁木謙吉	東上知方御役人中様	
188	22	〔伊勢守殿(久世広正)着坂ニ付名主庄屋惣代共御初入御札の件〕	10月27日	状1	仁木謙吉	西上ヶ知方御役人中様	
189	55	〔酒造屋見分ニ付由比半次他三人罷出〕	12月26日	状1	由比半次 〔郎カ〕、河合善右衛門、山崎徳次郎、嶋田唯次郎		後欠
190	92	〔東川崎町■■■庄左衛門牢屋敷へ出頭申付〕 〔役人共書付以追々断出〕 〔同心島田唯次郎罷帰〕		状1			
191	99	〔当津高札勤番所へ取寄ニ付〕	10月9日	状1	仁木謙吉 印	東西地方御役人中様	
192	116	〔当月分蠟燭十五挺東勘定方より到来〕	11月8日	状1	河方虎之助、市川定八、山崎徳次郎、山内今右衛門、嶋田唯次郎		
193	121	〔七宮神宮寺境内茶店等年限ニ付、追願書差出〕 〔小渡海役人清右衛門病身役儀退役、北浜名主北風彦六跡役勤〕 〔播州神東郡村々への御触書触留、根宇野村より返上〕 〔新在家町壺屋儀右衛門の儀〕		状1			後欠

通番号	番号	名称	年代	形状	作成	宛名	備考
194	126	〔与力山内今右衛門、妻出産ニ付引込のところ今日より出勤〕	12月29日	状1	由比半次、河合善右衛門、山崎徳次郎、山内今右衛門、嶋田唯次郎		
195	135	〔東御役所より御用状船便を以差出〕 〔川崎町日置屋利右衛門質物之儀〕 〔来月勤番河方虎之助・市川定八船路にて着〕	10月晦日	状1	工藤伊織、村上徳左衛門、山崎徳次郎、山内今右衛門、嶋田唯次郎		後欠
196	142	〔御普請役田村富八郎并郡代組付千田八郎、対馬表并九州・中国筋廻村御用相済〕 〔岡方壺之内小物屋町川崎屋いそ代長四郎等、水帳絵図へ張紙〕 〔魚棚町外科医師斎藤節隆倅改名ニ付、医師帳面へ張紙〕		状1			
197	152	〔工藤伊織・村上徳左衛門交代ニ付今朝出立〕	11月朔日	状1	河方虎之助、市川定八、山崎徳次郎、山内今右衛門、嶋田唯次郎		
198	155	〔東御役所へ御用状船便を以差出〕 〔和田崎町最上屋庄七宅普請ニ付板囲〕 〔入用紙代并炭油提灯張替代など銀子到来ニ付返書認〕 〔長伝寺諸法之儀〕 〔岡方三之内西柳原町須磨屋庄兵衛、水帳絵図へ張紙〕		状1			前欠
199	183	〔■■■、止宿後出立カ〕 〔森対馬守預り所御銀の件ニ付〕	戌正月18日	状1			前後欠
⑨住人関係							
200	7	〔兵庫津名主庄屋惣代共同出ニ付沙汰書付差進〕	10月9日	状1	仁木謙吉 印	東西上ヶ知方御役人中様	
201	15	〔兵庫津地付三人并船見番御門番共扶持米通帳庄屋より差出ニ付〕	卯10月21日	状1	仁木謙吉	東西支配勘定方御役人中様	
202	16	〔9日掛合、名主惣代共よりの書付ニ付沙汰尋〕	10月22日	状1	仁木謙吉	東西上ヶ知方御役人中様	
203	25	〔切戸町播磨屋弥三郎より兎原郡中野村丈助・惣兵衛相手取証文銀出入ニ付〕		状1			
204	26	〔願人病氣代召仕利兵衛断出〕 〔今出在家町御影屋平次郎より新在家町壺屋七左衛門相手取証文銀出入〕 〔西御役所へ御用状差遣、畳修復ニ付返書〕 〔播州明石郡村々博奕触書の事〕		状1			

通番号	番号	名称	年代	形状	作成	宛名	備考
205	27	〔今出在家町網屋甚右衛門持屋敷板取取払の件〕 〔魚棚町紙屋与兵衛富屋町大和屋喜兵衛下人善次郎、牢屋敷に罷出、盗賊仕置きの上、大工道具善次郎へ下置件〕 〔東御役所へ御用状壺封、船便にて差遣〕		状1			
206	33	〔西宮内町住屋卯兵衛かしや樽屋庄右衛門同家弟伊三郎の件などの目録〕		状1			
207	40	〔神明町本陣井筒屋又兵衛儀五條代官池田仙九郎より本陣拝借金返済延期願〕 〔南浜漁師肝煎和田崎町瀬田屋利兵衛・北浜東出町淡路屋十兵衛…〕	辰5月25日、5月3日 5月26日	状1			
208	73	〔当津地付同心山崎次郎助他二名へ拝借銀渡遣の件承知ニ付〕	10月27日	状1	仁木謙吉 印		
209	82	〔諸株冥加銀上納ニ付添翰、干魚塩魚仲買年行事共請取ニ罷出〕 〔定芝居初日ニ付同心河内虎之助ら罷出〕	11月16日	状1	河方虎之助、市川定八山崎徳次郎、山内今右衛門、嶋田唯次郎		
210	83	〔酒造屋見分ニ付同心河方虎之助ら罷出〕 〔南浜名主絵屋右近右衛門酒造株譲渡伺の件〕	11月17日	状1	河方虎之助、市川定八、山崎徳次郎、山内今右衛門、嶋田唯次郎		
211	93	〔庄屋仙右衛門大津御役所御用相済、罷帰〕 〔丸亀西平山宗八より添書以東須磨村より送来、次走水村へ差送〕 〔川崎町豊後屋徳三郎家屋敷并摂州大石村松屋左衛門町内掛屋敷〕		状1			前後欠
212	117	〔木戸町錦屋五兵衛、大坂船越町嶋屋孫兵衛より当月分切金請取〕 〔西御役所へ書状船便ニ而差出〕 〔勢州渡会郡崎村藤兵衛、国元出立廻国修行ニ罷出〕	10月29日	状1	工藤伊織、村上徳左衛門、山崎徳次郎、山内今右衛門、島田只次郎		前後欠
213	118	〔江川町瓜屋九兵衛、摂州有馬郡小名田村十右衛門相手取干鰯売代銀出入済〕	12月21日、12月21日	状1	由比半次、河合善右衛門、山崎徳次郎、山内今右衛門、嶋田唯次郎		後欠
214	119	〔東寺社方への書状船便にて差出〕 〔先月中溜り物一件〕 〔人足差紙押切〕 〔湊町加古屋仁右衛門支配かし家林屋利兵衛欠落跡残し道具、利兵衛女房はつ貰度旨願出〕	11月3日	状1	河方虎之助、市川定八、山崎徳次郎、山内今右衛門、嶋田只次郎		3点接合

通番号	番号	名称	年代	形状	作成	宛名	備考		
215	102	〔願出に付、上ヶ知方へ懸合〕 〔播州■郡村々への御触書等、福知村より返上〕 〔御触書受印取、阿弥陀寺差出〕 〔酒造日取書帳面年行事共より差出〕	11月4日	状1	河方虎之助、市川定八、山崎徳次郎、山内今右衛門、嶋田只次郎		前後欠		
	167	〔当津干魚塩魚中買株帳面へ張紙〕	11月5日		河方虎之助、市川定八、山崎徳次郎、山内今右衛門、嶋田只次郎				
	120	〔網屋嘉兵衛断出、定例の通張替〕 〔関屋町生木屋七郎右衛門所持酒造株和田崎町柿屋十右衛門へ譲渡ニ付酒造道具売渡〕 〔東御役所へ御用状船便にて差出〕 〔奥平大膳太夫殿領分豊前国中津…〕	10月10日		河方虎之助、市川定八、山崎徳治郎、山内今右衛門、島田唯次郎				
	216	122	〔船越町会所より申来、唯右衛門罷登〕 〔湊町山田屋藤右衛門ら大坂西御役所への酒小売願取下〕	12月16日	状1	由比半次、河合善右衛門、山崎徳次郎、山内今右衛門、嶋田唯次郎		前欠	
	217	123	〔南濱酒造年行事等、定例之通名主へ糺之義申渡置〕 〔寺社触書触留り、板宿村禅昌寺より返上〕 〔木戸町綿屋五兵衛、大坂船越町嶋屋孫兵衛相手取証文銀出入〕	12月28日	状1	由比半次、河合善右衛門、山崎徳次郎、嶋田唯次郎		前後欠	
	218	124	〔証文銀出入〕		状1				前欠
	219	129	〔同人川崎町大和屋伊兵衛ら四人相手取証文銀出入済〕 〔地付同心歳末御礼申上〕 〔嶋上町山田屋与惣左衛門方出立、大坂御番所へ船積相済候届無〕 〔今出在家町御影屋平次郎酒造桶の儀〕 〔蝦夷地渡海御用船請負〕		状1				前後欠
	220	132	〔西大路町関田屋吉右衛門借屋妙法寺勘兵衛家出ニ付家主へ過料仰付〕 〔匠町白髪屋利右衛門抱屋敷普請相仕舞、表通板囲取払〕	状1					
	221	134	〔東出町樽屋まつ代判与右衛門かしや山田屋弥兵衛同家倅源蔵欠落立帰りなどの目録〕	状1			前後欠		
	222	143	〔御影屋常七方へ売渡〕 〔北風彦六養弟弥太郎、大阪本町綿屋市兵衛方へ養子に遣うも不縁ニ付持参品々取戻出入〕	状1					

通番号	番号	名称	年代	形状	作成	宛名	備考
223	148	〔川崎町石屋平五郎并所の者牢屋敷へ罷出〕	12月19日	状1	由比半次、河合善右衛門、山崎徳次郎、山内今右衛門、嶋田唯次郎		後欠
224	153	〔佐比江新地綿屋五兵衛、水帳絵図へ張紙〕 〔湊町鍵屋玉之助茶屋株借受渡世ニ付、株帳面へ張紙〕 〔西柳原町井上屋つき代判七左衛門借家山頭屋栄治ら二人欠落ニ付跡品物入札落札〕		状1			
225	160	〔南浜名主絵屋右近右衛門酒造株譲かへ〕 〔法界寺檀家施入ニ付自身説法〕 〔定芝居大坂嵐梅太郎一座歌舞伎芝居興行〕		状1			
226	164	〔高田屋嘉兵衛、奥州松前において金15両に三人扶持頂戴仕、且道中帯刀勝手次第仰付〕 〔逆瀬川町茶屋徳五郎親類、紛失品の件〕		状1			前欠
227	165	〔和田崎町柿屋十右衛門酒造道具仲買富屋町御影屋常七方へ売渡〕	11月18日	状1	河方虎之助、市川定八、山崎徳次郎、山内今右衛門、嶋田唯次郎		
228	169	〔東盗賊方へ書状、船便りで差出〕 〔和田崎町升屋清左衛門同家半兵衛欠落などの目録〕		状1			
229	170	〔磯之町畑屋次三郎居宅普請断書などの目録〕		状1			
230	171	〔東地方への書状船便にて差出〕	11月16日	状1	河方虎之助、市川定八、山崎徳次郎、山内今右衛門、嶋田唯次郎		後欠
231	172	〔木場町柴屋伊左衛門儀、播州加東郡菅田村小兵衛より加古郡高砂三草屋久右衛門相手取候預け米出入ニ付〕 〔西御役所勘定方へ御用状船便で差出]などの件 〔西出町新年寄貝屋市郎兵衛召連北風彦六罷出〕	12月17日	状1	由比半次、河合善右衛門、山崎徳次郎、山内今右衛門、嶋田唯次郎		後欠
232	173	〔町人女房呼仰候節之儀并火之元…〕 〔添翰相渡〕 〔逆瀬川町尾木屋九兵衛居宅普請ニ付板囲〕 〔岡方惣代高井喜一、当津宿方御用ニ付大津御役所へ罷越〕		状1			前欠
233	175	〔木場町布屋甚助、摂州八部郡妙法寺村三郎右衛門相手取預け銀出入〕 〔月行事升屋吉五郎書付を以断出〕 〔西大路町西光寺の儀〕	11月9日	状1	河方虎之助、市川定八、山崎徳次郎、山内今右衛門、嶋田唯次郎		前後欠

通番号	番号	名称	年代	形状	作成	宛名	備考
234	176	〔当津諸冥加納入の者并酒造株借請人冥加銀、東役所へ差出〕 〔東出町大川屋武兵衛御召、両組水車并大坂種物問屋年行司より武兵衛綿実売捌願〕		状1			後欠
235	177	〔東西地方役人より船便申来ニ付、多葉粉仲買年行司呼出〕 〔鍛冶屋町北風彦六ら人別帳持参罷出〕 〔出在家町岩間屋房持屋敷普請ニ付、板囲足代取払〕 〔南濱之内和田崎町塩物屋さの安田新左衛門水帳絵図へ張紙〕		状1			前後欠
236	178	〔焚湯株之内東出町材木屋孫七壱口株帳面へ張紙〕 〔北浜の内宮前町六軒屋卯兵衛より網屋さよへ水帳絵図へ張紙〕 〔門口町藍野屋源四郎病氣代徳三郎、同人借家播磨屋茂八牢内より差入願之品持参〕		状1			前欠
237	186	〔西大路町関田屋吉右衛門借家妙法寺屋勘兵衛家出〕 〔書付以断出開置〕 〔当津薬種仲間新加入の件ニ付罷登〕 〔恵林寺寺門居喜兵衛呼出ニ付上坂、留守中範国寺代印〕	9月17日、9月25日 9月24日	状1			前欠
238	189	(貼紙)「利平次病氣代弥右衛門」 〔西光寺藤樹院の儀〕などの件	6月4日 5月26日	状1			前後欠
239	225	〔六軒屋定作郎等断出〕 〔新在家町網屋三太夫より出在家町伊勢屋仁右衛門ら相手取証文銀出入済〕 〔岡方名主常見藤左衛門宗旨巻無滞相済〕	10月9日	状1	工藤伊織、村上徳左衛門、山崎徳次郎、山内今右衛門、嶋田唯次郎		前欠
240	284	〔川崎町備前屋作右衛門質物の件〕 〔新町座古や徳左衛門質物の件〕	10月20日	状1	仁木謙吉 印	東切日懸り御役人中様	
⑩船の関係							
241	8	〔書状船便差進処、船無に付き、宿送り幸便差進ニ付取斗〕	10月11日	状1	仁木謙吉	東御当番中様	
242	10	下(越後国御廻米御用船造立之儀ニ付普請役出役、西出町役人共呼出、非常手当申渡)	10月15日	状1	仁木謙吉	東西地方御役人中様	
243	24	〔加州・尾州廻船作事の件などの目録〕		状1			前後欠
244	53	〔御触書2通東西上ヶ知方より船便りを以到来〕 〔備前国利生村直乗船頭万右衛門船難船ニ付〕		状1			前後欠
245	97	〔当津名主庄屋惣代船役人共歳末御礼例之通申上〕 〔木戸町孫屋又兵衛、大坂船越町嶋屋孫兵衛と証文銀出入対決の件〕		状1			破損有、後欠

通番号	番号	名称	年代	形状	作成	宛名	備考
246	98	〔江戸廻米積請ニ付摂州兎原郡新在家村兵庫屋甚助船沖船頭嘉十郎長州沖合にて難船〕		状1			
247	130	〔小屋便を以書状到来〕		状1			前後欠
248	131	〔西御番所へ御用状船便を以差遣〕 〔石原庄三郎代官所摂州八部郡・木村周蔵代官所兎原郡村々江戸廻米船積〕		状1			前後欠
249	145	〔山内今右衛門妻男子出産ニ付産穢れ引込〕 〔木村周蔵代官所摂津国村々江戸廻米船積〕 〔東出町真幸屋伊右衛門所持茶船流出〕 〔質物取置〕		状1			前後欠
250	150	〔湊町布屋久兵衛、摂州八部郡山田下谷上村利兵衛相手取預け銀出入〕 〔和田崎町柿屋文右衛門縁者同家人伊八漁稼中大風ニ付破船〕	10月20日	状1	仁木謙吉 印	東西上ヶ知方御役人中様	前後欠
251	156・149	〔稲葉伊代守領分豊後国海士部郡藤田村直乗船頭金兵衛船火災船中焼失〕 〔松平長門守参勤中、播州坂越より船陸揚〕 〔当津諸株冥加銀相納之内、多葉粉仲買手形銀高相違〕		状1			前後欠
252	158	〔小渡海役人清右衛門多病ニ付北浜名主北風彦六跡役の件〕	12月22日	状1	由比半次、河合善右衛門、山崎徳次郎、嶋田唯次郎		前後欠
253	166	〔石原庄三郎殿御代官所摂州八部郡村々年貢江戸御廻米、当津にて船積相済候ニ付非常手当〕 〔江川町瓜屋惣八、摂州有馬郡上大沢村伊兵衛相手取干鯛代銀出入〕 〔豊後国藤田村直乗船頭金兵衛船火災〕		状1			
⑪雑、その他							
254	39	〔別紙溜り物差進取斗〕		状1			後欠
255	45	〔吟味筋の件ニ付入牢仰付〕		状1			後欠
256	46	〔牢屋敷よりお渡しニ付〕		状1			
257	48	〔沙汰の旨申渡〕		状1			
258	54	〔名前書上〕		状1			後欠
259	57	〔武兵衛召連、罷帰〕		状1			前後欠
260	60	〔大坂種物問屋中より不筋の売買の件〕 〔断簡〕		状1			
261	61	〔紙筆墨代など入用金書上〕		状1			破損有
262	75	〔断簡〕	慶応3年10月晦日	状1	西出町月行司岡本屋弥次郎(印)	当津御番所様	前欠
263	76	〔断簡〕	10月2日	状1	牧野平左衛門(印)	仁木謙吉様	前欠
264	80	〔断簡〕	10月8日	状1	仁木謙吉	東盗賊方御役人中様	前後欠
265	81	〔断簡〕		状1	幸助、同町五人組頭菓子屋徳兵衛	当津御番所様	前欠

通番号	番号	名称	年代	形状	作成	宛名	備考
266	91	〔断簡〕		状1		御役人中様	前欠
267	103	〔播州明石郡大蔵谷村にて足痛発病ニ付村送り〕 〔加州石川郡金沢仰西町乗円寺弟子裕慶、播州揖東郡中庄村ニ而病氣ニ付村送り〕		状1			前欠
268	106	〔欠落人利兵衛らの件ニ付東西上ヶ知方へ懸合書状認〕		状1			前欠
269	111	〔定芝居釣人形見世物興行并相仕廻断書などの目録〕		状1			
270	112	〔播州明石城下西新町碇屋宗兵衛の件などの目録〕		状1			
271	114	源蔵雑物(きせる他6点)等書上		状1			
272	125	〔断簡〕	12月晦日	状1	由比半次、河合善右衛門、山崎徳次郎、山内今右衛門、嶋田唯次郎		前欠
273	137	〔断簡〕		状1		当津御番所様	前欠
274	154	〔送出書付不分明ニ付次送りの儀、検使派遣〕		状1			前欠
275	205～208	乍恐口上(大坂とじ備米相場休の件)	11月20日、11月24日、12月13日、同13日、同16日、11月■日、11月6日、11月14日、11月16日、11月25日、11月晦日、9月16日、亥10月	状1	兵庫津米市場(印)	当津御番所様	
276	254	〔株返上之儀願上〕	9月7日	状1			前後欠

神戸市立博物館 館蔵品目録

考古・歴史の部 39

古文書X V

兵庫勤番文書

2025 年 3 月 31 日

編集発行 神戸市立博物館

神戸市中央区京町 24